(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 元年 6月 27日

愛知県知事殿

届出者

住 所 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地

株式会社 デンソー 取締役社長 有 馬 浩 二 株式会社 デンソー幸田製作所 代理人 所長 前 岩 修 氏 名

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0564 (56) 7725

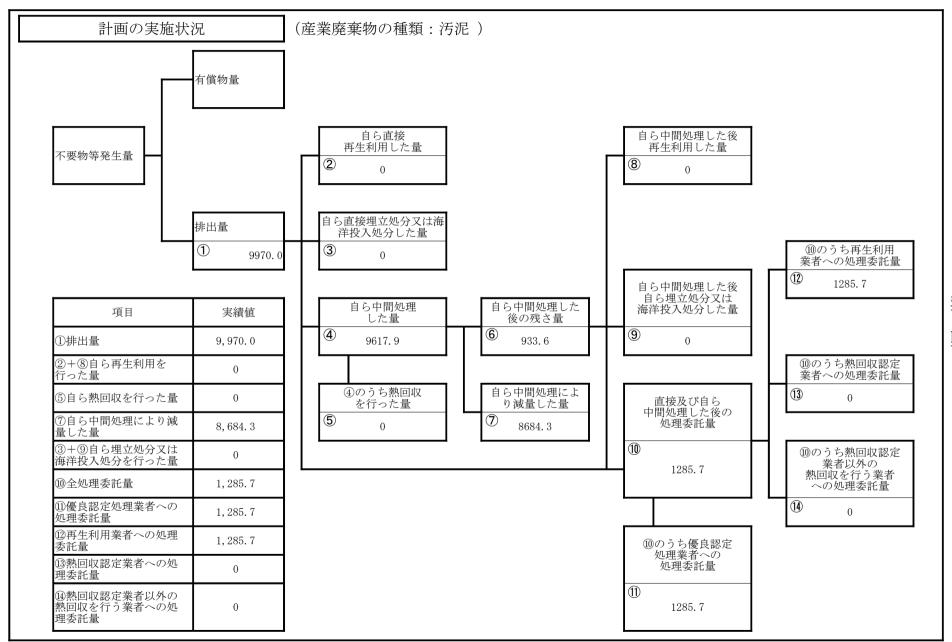
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成 30年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。

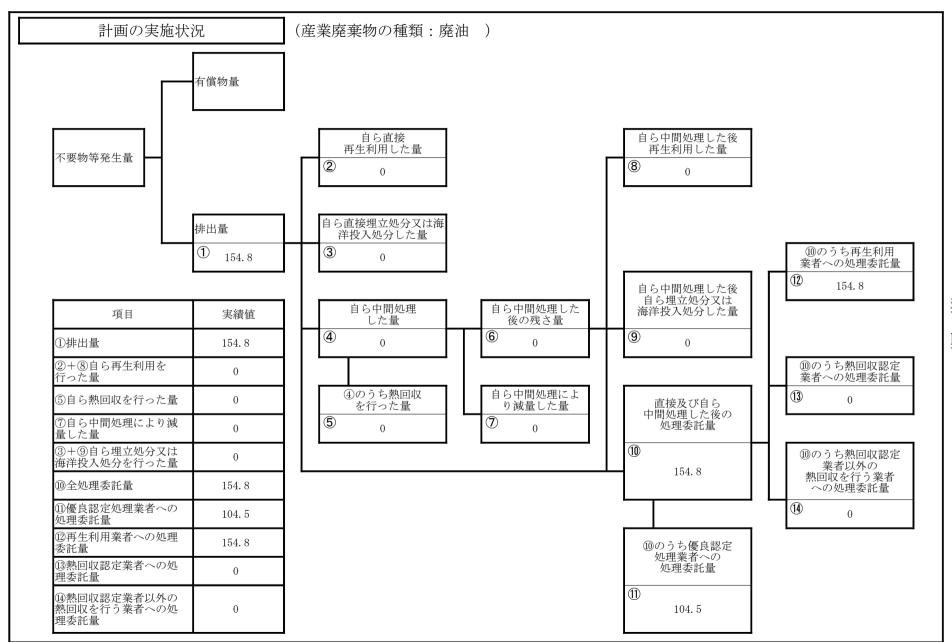
| 事業場の名称 | 株式会社 デンソー幸田製作所 | |
|-----------------------|----------------------|--|
| 事業場の所在地 | 愛知県額田郡幸田町大字芦谷字丸山 5 | |
| 事業の種類 | 29 電気機械器具製造業 | |
| 産業廃棄物処理計画における 計画期間 | 平成30年4月1日~平成31年3月31日 | |

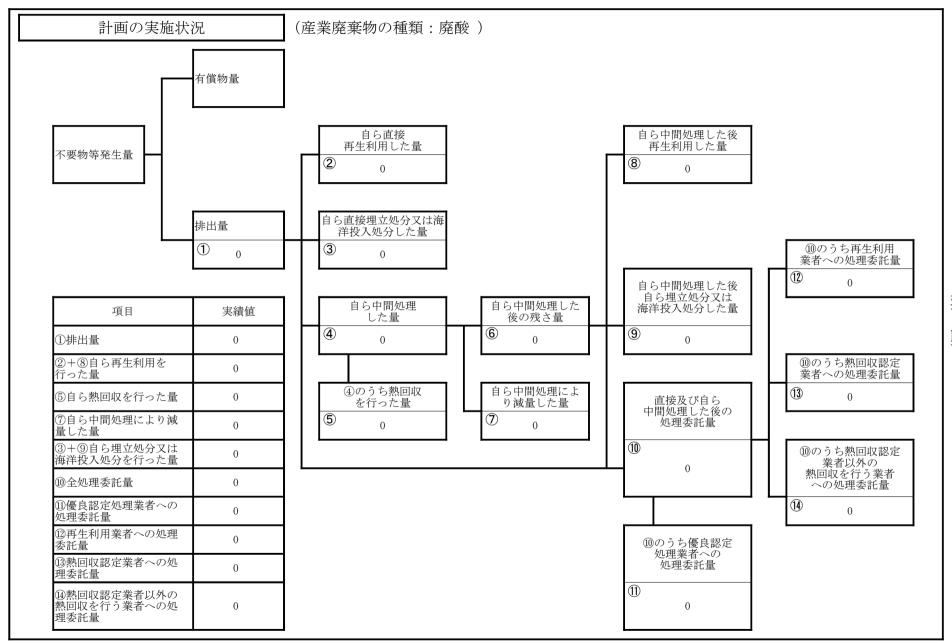
産業廃棄物処理計画における目標値

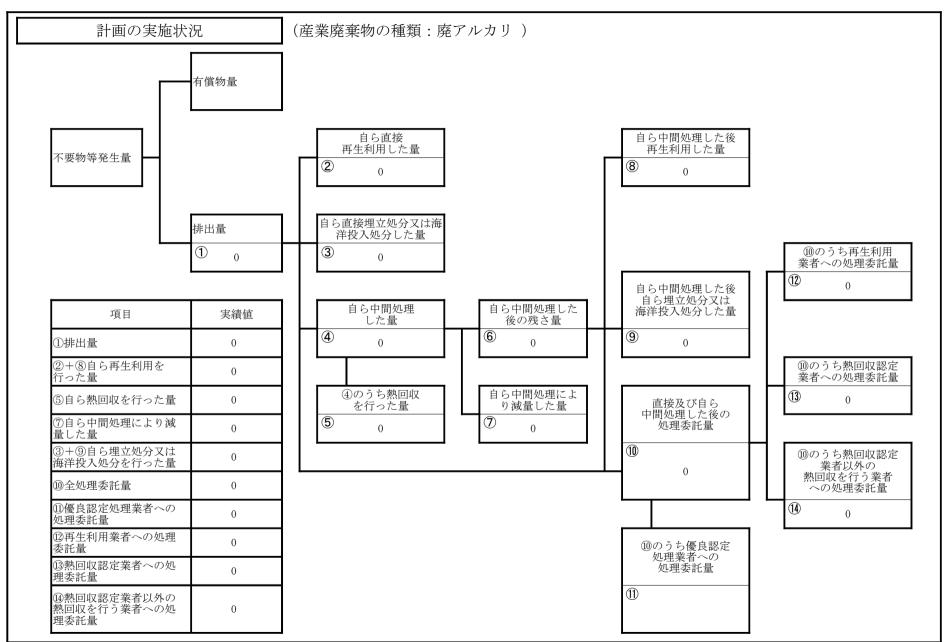
| 項目 | 目標値 | 項目 | 目標値 |
|----------------------------------|-----------|-----------------------------------|-----------|
| 排出量 | 11653.7 t | 全処理委託量 | 1940. 0 t |
| 自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 | 0 t | 優良認定処理業者への 処理委託量 | 1777.5 t |
| 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 | 0 t | 再生利用業者への 処理委託量 | 1940. 0 t |
| 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 | 9733.7 t | 認定熱回収業者への 処理委託量 | 0 t |
| 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 | 0 t | 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 | 0 t |
| 事務処理欄 | | | |

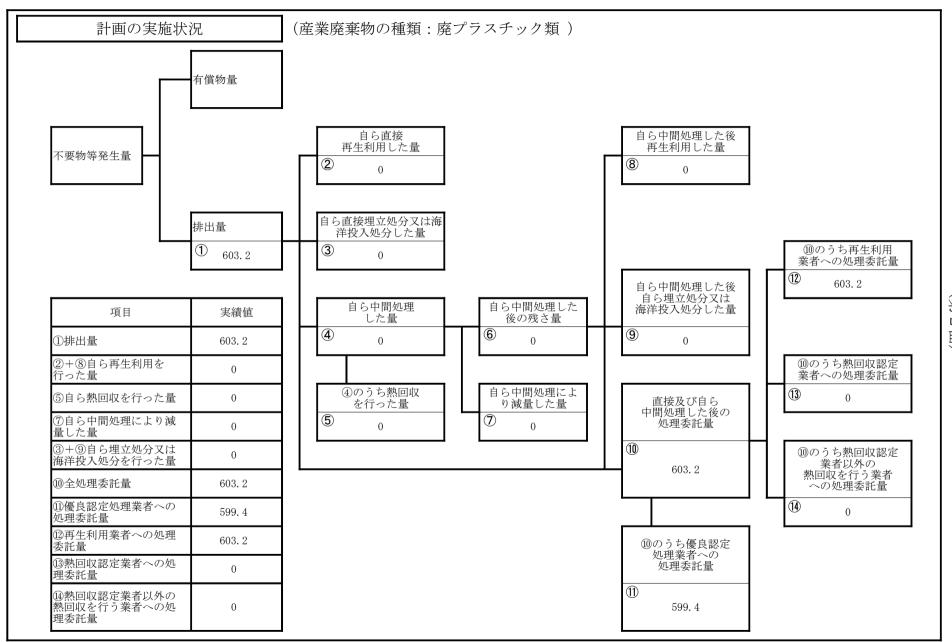
(日本工業規格 A列4番)

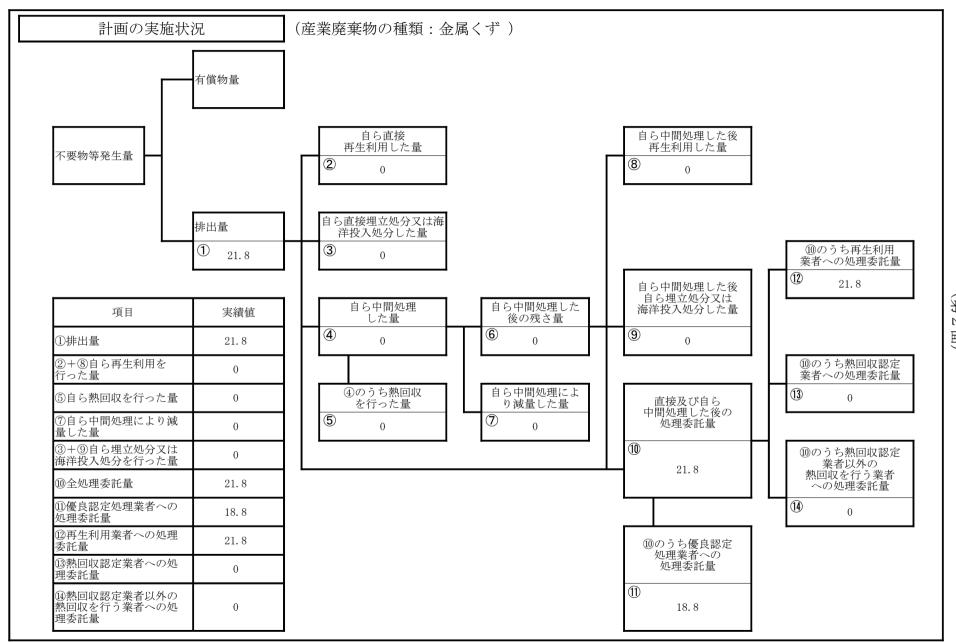


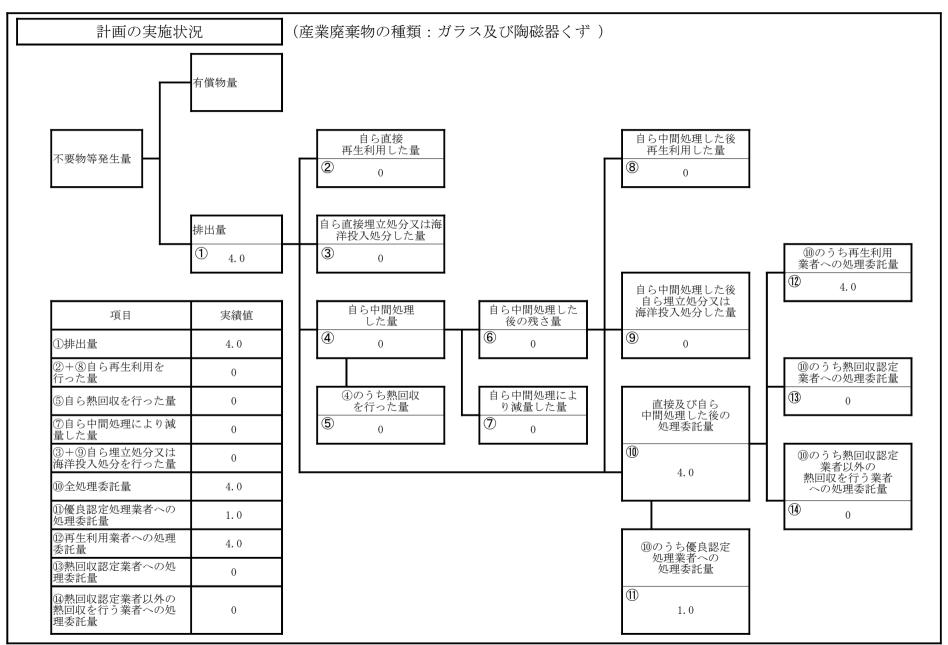


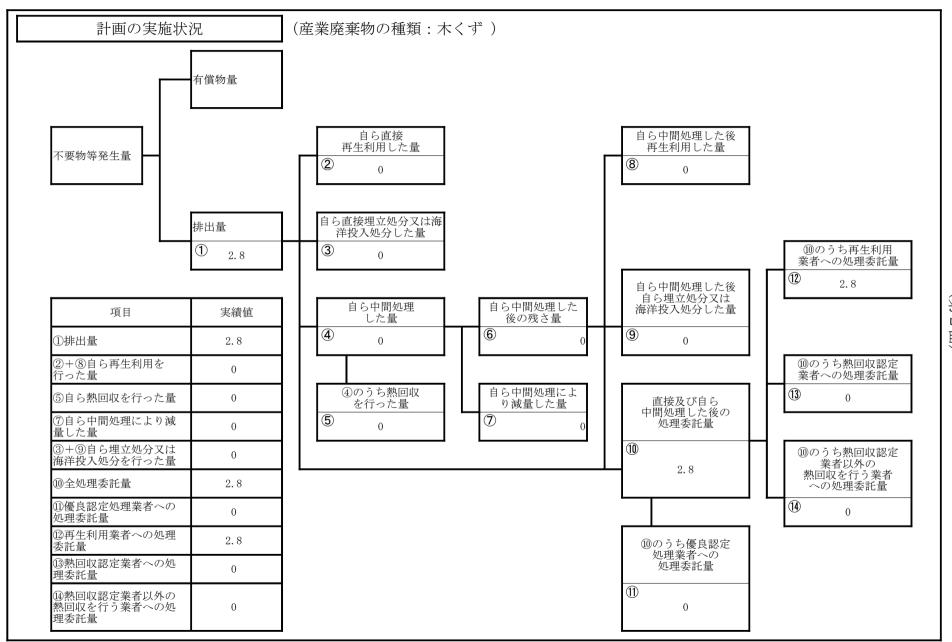












備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載 した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14) に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑩欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者) への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ③欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ④欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記 入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃 棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。